

太陽のてがみ

てがみには、住所・氏名・年齢・職業を記入してください。(広報掲載時に氏名は載りません。)なお、ひぼう・中傷や営利を目的とする内容は掲載しません。

「生き活きしらぬか」 外出支援助成事業」について



70代・女性

このたび「防災ラジオ」を全戸配布していただき感謝しています。また、毎年のタクシーと町営バスの運賃補助券もありがたく利用させていただいています。ただ、周りの方から多数の運賃補助券が余り、それを捨てていると聞きまし

た。これでは私たちの血税が無駄になっていくと思います。そこで提言ですが、申請時に前年度分の残った券を持参して、その分を差し引いて6千円の支給としてはいかがでしょうか。前年度分の残った券は、現年度も使えるようにしたら、一人6千円分は今までと変わりません。そして、予算で残った分は、福祉施策などに利用していただけたら、私たちの血税も無駄にはならないと思います。ご検討くださいますよう、よろしくお願いします。

お答えします

ご心配をいただき誠にありがとうございます。この事業は、外出の機会や社会参加を促進し、地域福祉の増進を図ることを目的に、重度の心身障がい者や高齢者などを対象として、外出時における交通費の一部を助成するものです。1枚100円のタクシーと町営バス運賃補助券を1人あたり年間6千円分交付しています。そこで、ご心配をいただいた件につきましては、使用した分だけをタクシー事業者から請求してい

ただき、利用料金を支出する内容でタクシー事業者と契約しています。ですから、未使用分を町が支出することはありません。また、年度ごとの事業ですので、翌年度に繰り越して使用することはできないことになっています。この事業の趣旨をご理解いただき、運賃補助券は少しでも日常生活に活用していただきますよう、よろしく申し上げます。

〈介護福祉課〉

「太陽のてがみ」

てがみの質問・意見・要望などに対しては、町長からの回答またはコメントを掲載しています。また、参考のため役場内の担当課名を載せています。

封筒用紙は、次の場所に備え付けていますので、質問・意見・要望などをお寄せください。

- ・役場庁舎 1階ロビー
- ・庶路支所の窓口
- ・役場 2階企画財政課窓口

新型コロナウイルスは、火の見えない火事のようなもの。

一步の遅れが命の危機をまねきます (危機的医療現場で奮闘する看護師の生の声です)

「北海道医療非常事態宣言」が発出されるなど、北海道全体が医療の非常事態ともいえる状況となっています。ご自身はもとより、知人や友人、大切な人の命と暮らしを守るためにも、一人一人がマスクの着用、手洗いやうがい、密の回避、アルコール消毒など、感染防止行動を徹底するとともに、人と人との接触の機会を減らすようお願いします。



問合せ／健康こども課健康推進係 ☎ 2-2171内線(555)